

はんなん ウォーキングロード

ロングコース

・下出不動尊 「身体の悪いところをさすると、病気が治る」といわれて地域の方に親しまれています。傷みが激しく、原形がなくなってきたので、平成10年に新しいお不動さんになりました。

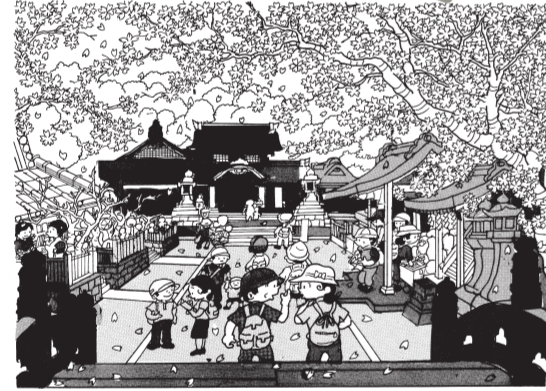
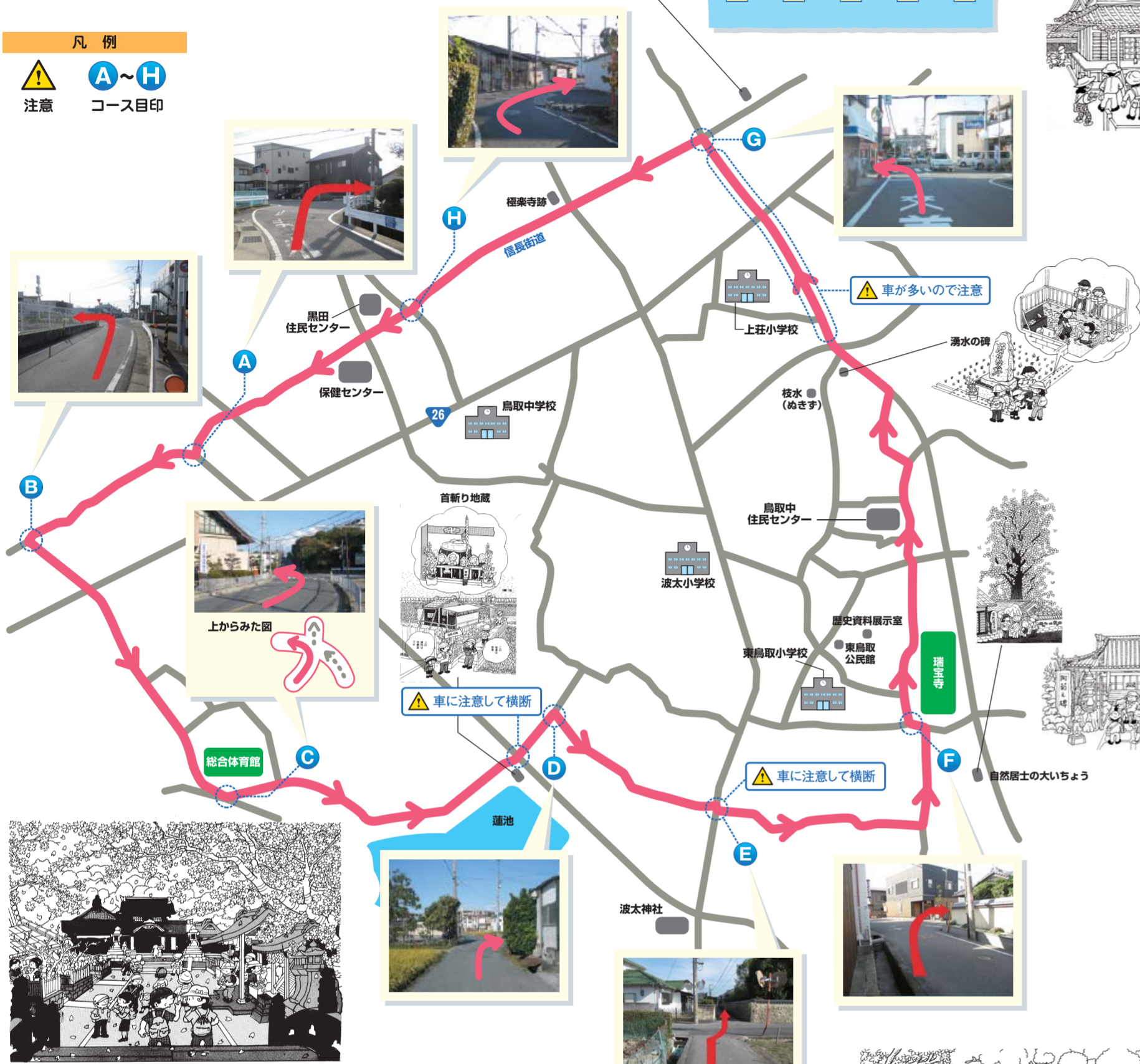
所要時間(めやす)
ロングコース1周: 約5.2km (約80分) (約8,000歩)

保健センター	C 総合体育館	F 瑞宝寺	G 下出入会社	保健センター
約1.3km (約25分)	約1.7km (約25分)	約1.3km (約20分)	約0.9km (約10分)	



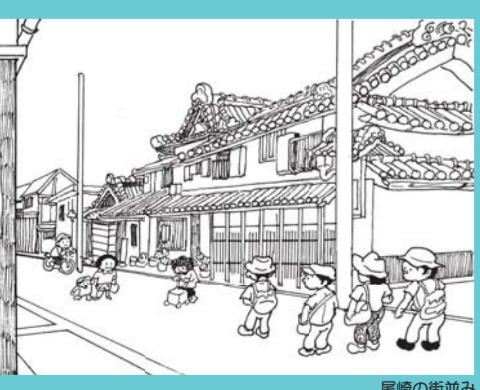
凡例

▲ 注意
A~H コース目印



・波太神社

平安時代の『延喜式』に記されている「式内社」で、鳥取郷の総社です。本殿とその隣の末社三神社は桃山様式の華麗な建物で、国の重要文化財に指定されています。天正5(1577)年の織田信長による雑賀攻めでは、ここに本陣を置いたといわれています。天正13(1585)年の豊臣秀吉による根来・雑賀攻め時に焼かれ、豊臣秀頼のときに修復されました。拝殿正面の燈籠は、片桐且元の奉納と伝えられています。他に三十六歌仙扁額(府指定文化財)が奉納されています。毎年10月にある祭礼では、宮入りした地車(やくら)が勇壮に石段を駆け上がる様子を見ることができます。



平成28年1月発行
阪南市教育委員会 生涯学習部 生涯学習推進室
TEL 072-471-5678

・首斬り地蔵

天正13(1585)年、豊臣秀吉が根来寺を攻めたとき、波有手(ぼうで 今の鳥取)にあった道弘寺などの寺院が焼かれ、僧侶が殺害されました。村人たちはあまりの無残さに、斬られた僧侶たちを手厚く葬り、冥福を祈ったといわれています。地元では「首から下の病に効能がある」とい伝えられ、今も線香の煙が絶えることがありません。

・自然居士の大いちょう

自然田にイチョウの大木があり、その傍らに自然居士を祀る祠があります。自然居士は半僧半俗の民間仏教唱導者で、謡曲「自然居士」の主人公はこの地の出身とする伝承があります。その謡曲のあらすじは、両親の供養に供える小袖を求めると人買い商人に身を売った少女を自然居士が芸を演じて救うというものです。

・抜水(ぬきず)

明治初年、鳥取中の根来紋次郎氏の考案した灌漑施設のことで、水利の不便な畑地に水を引き、農民の感謝を得ました。抜水の仕組みは、高い所に井戸を掘り、その水面以下の所からトンネルを掘って低地に水を導くと低地で水が自噴するというものです。近くにこの遺徳を偲び農民が建てた「湧泉の碑」があります。

・旧鳥取銀行

明治33(1900)年に設立された銀行。数度の恐慌を乗り越りましたが、昭和2(1927)年に降合併、買収を経て、住友銀行に吸収合併されました。現在は、個人宅ですが、窓枠や瓦文様などに銀行の面影が残ります。

・西鳥取観音堂

以前、この周辺に存在したとされる道弘寺のお堂のひとつと伝えられています。堂内には、平安時代の十一面観音菩薩が祀られています。この菩薩像は、高さ約160センチ余りの立像で、檜の一本造りで、市内では、数少ない平安時代に遡る像のひとつです。

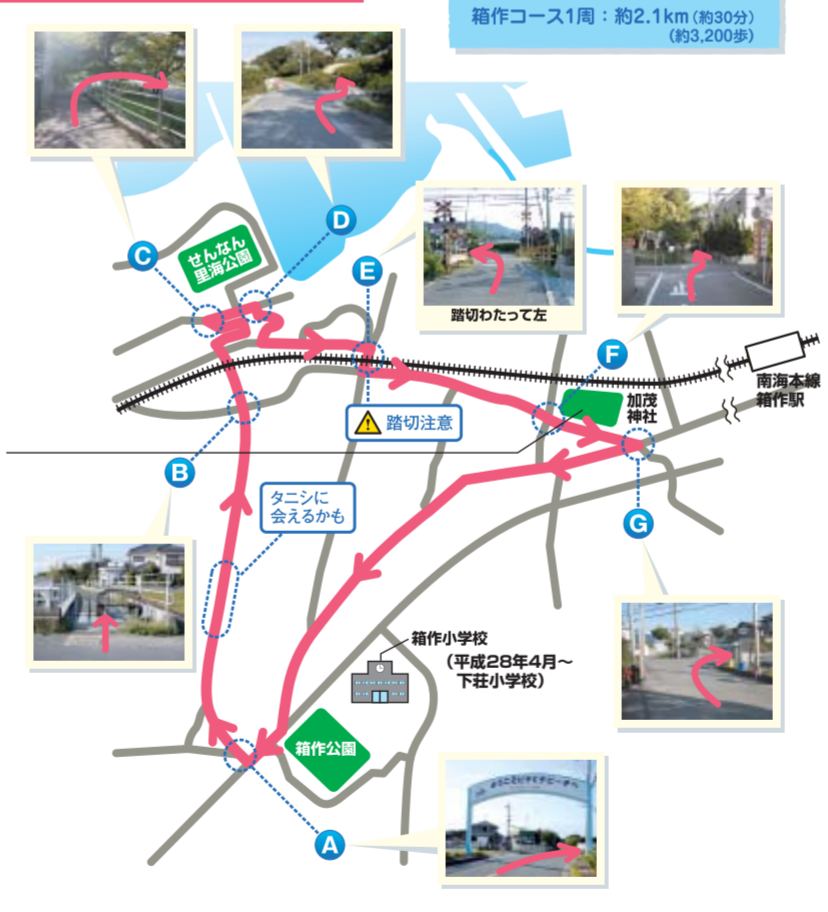
・法福寺

地元では「お菊寺」と呼ばれています。大坂夏の陣で豊臣方の密書を持っていて、徳川方に捕らえられ、処刑されたというい伝えのある「お菊」ゆかりの寺で、お菊の像が安置されています。

西鳥取コース



箱作コース



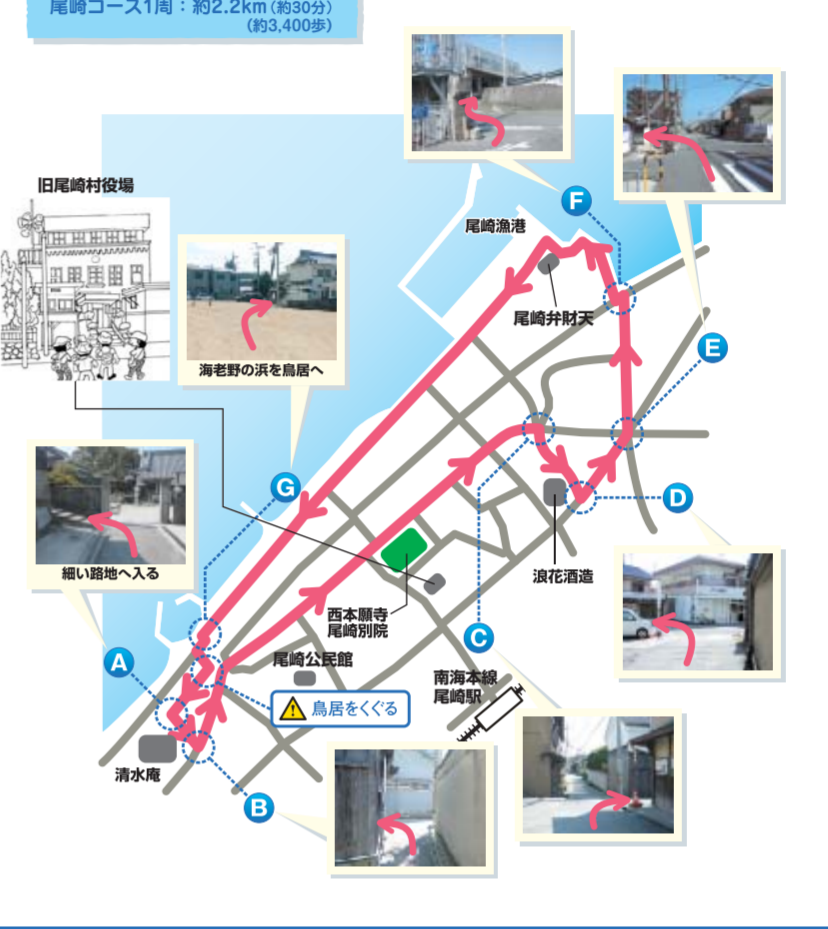
・極楽寺跡

極楽寺は、昭和35(1960)年頃に廃寺になった真言宗寺院です。明和4(1767)年に高野山大住院に提出された史料には、境内の広さ約1,000㎡、本堂や庫裏の他、護摩堂などの建物があつたことが記されています。現在は、墓地のみが残っています。

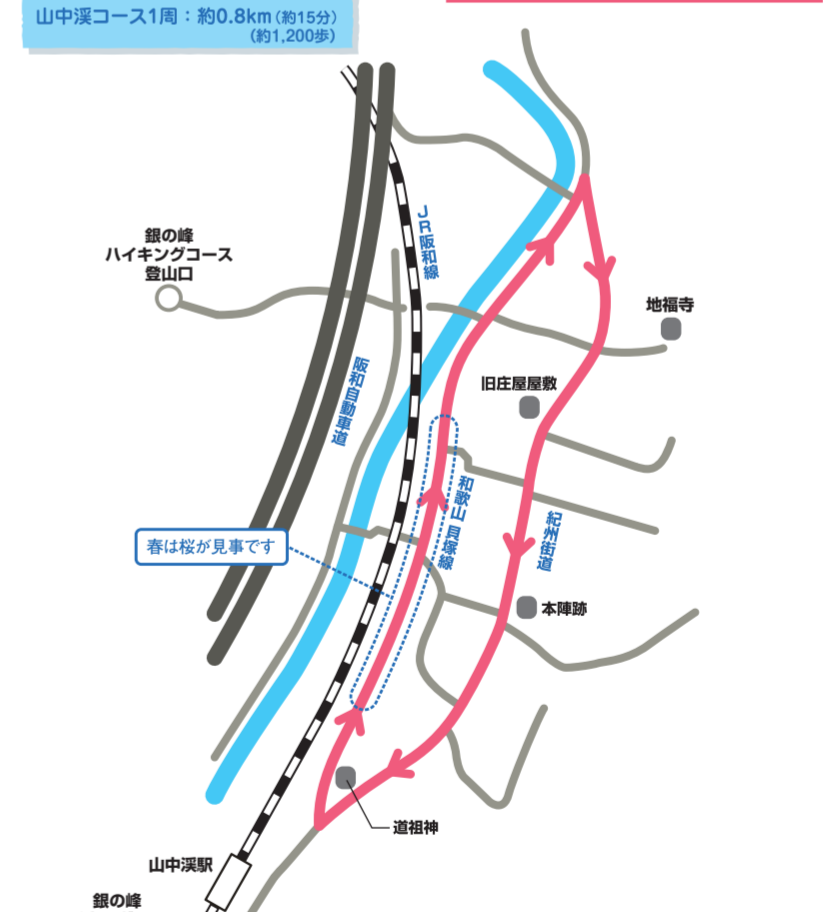
・加茂神社

下荘地区は古代末から中世期にかけて京都の上賀茂神社の荘園でした。本社はその当時(社伝では弘に4年=813年)に創建されたものと伝えられています。京都上賀茂神社を模して創建された椋皮葺(むわだぶき)の本殿は安土桃山時代の建築で、石燈籠とともに昭和45(1970)年2月、大阪府指定有形文化財の指定を受けています。

尾崎コース



山中溪コース



はんなん ウォーキングロード ハイキングコース おてがるマップ

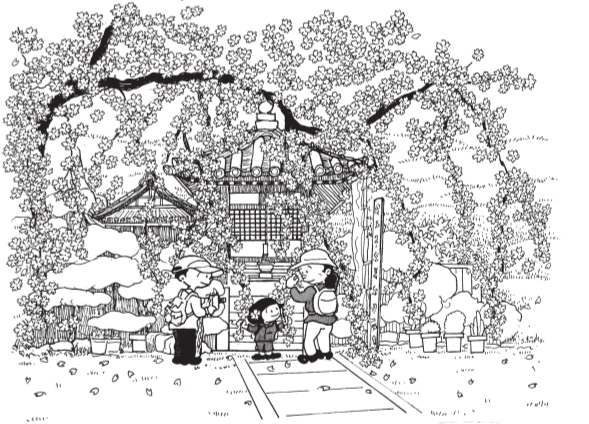
阪南市

・旧尾崎村役場

昭和初期(昭和4~6年頃)に、建設された鉄筋コンクリート造りの3階建て建物で、建築経費は、地元の有志による寄付金などで賄われ、建築工事は当時の村長であった銭高善造氏が創業した銭高組によって請け負われました。当時の泉南地方では、類を見ない豪華な役場で、昭和50(1975)年まで使用されました。

・尾崎弁財天

祭神の八臂(はっぴ)弁財天は、天保年間(1830~1844)、とある尼僧が運んできたものを祀ったとされています。社殿は遷宮を繰り返し、昭和3年に当地に落ち着きました。境内の百度石は嘉永2(1849)年の和泉砂岩製で、世話人などの名前と東西南北の方位を記しています。



・地福寺(子安地蔵、しだれ桜)

本堂は波太神社の神宮寺であった神光寺を明治18(1885)年に移築したもので、屋根は宝形造の均整のとれた姿を留めています。境内の子安地蔵は琵琶ヶ岸懸の南にあった地蔵堂王子から移されました。観音堂の十一面観音菩薩像は長谷寺の観音のお告げにより、刻まれたといういい伝えがあります。本堂前のしだれ桜は、毎年春になると見事な花を咲かせます。

※このウォーキングロード・ハイキングコースのマップは、内閣府の地域再生戦略交付金を活用して作成しました。
 ※ウォーキングロードは、平成22年度に阪南市(保険年金課)と大阪府国民健康保険団体連合会が作成した「ツール・ド・大阪はんなんウォーキング」のコースマップを修正したものです。
 ※史跡イラスト: 角田光和さん(阪南市在住)
 ※歩数は、1歩65cm(参考身長: 162~163cm)で算出したものです。
 (1歩の長さの目安: 身長(cm)×0.4)

ロングコース

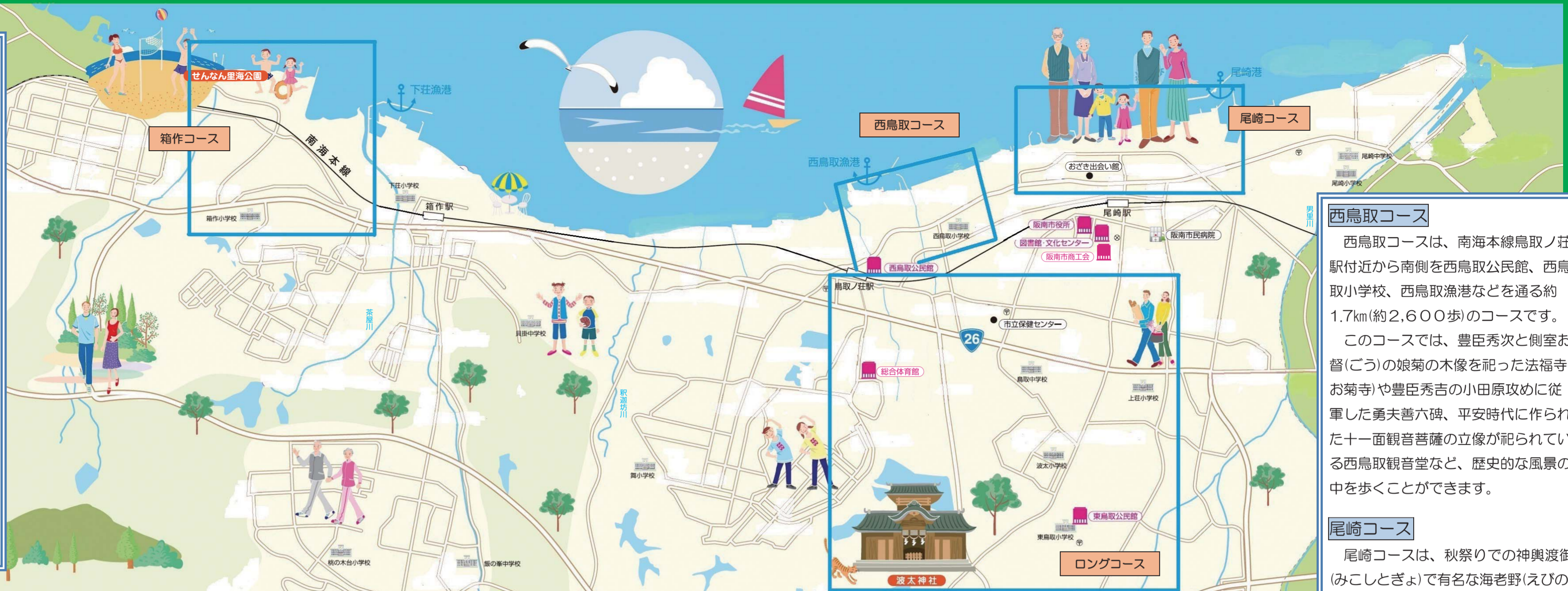
ロングコースは、織田信長が整備したといわれる信長街道から、総合体育館、瑞宝寺などを通る約5.2km(約8,000歩)のコースです。

このコースは、市の中でも比較的新しい街並みと昔ながらの街並みの両方を見ることができ、変化に富んだ風景の中を歩くことができます。

箱作コース

箱作コースは、孝子峠に通じる浜街道からせんなん里海公園を通る勾配に変化のある約2.1km(約3,200歩)のコースです。

このコースでは、せんなん里海公園から見渡せる淡路島などの美しい景色や加茂神社境内の豊かな自然を見ながら歩くことができます。また、せんなん里海公園沿いの砂浜は、夏になると海水浴場(ピチピチビーチ)として開設され、市内外を問わずたくさんの方が訪れます。



西鳥取コース

西鳥取コースは、南海本線鳥取ノ荘駅付近から南側を西鳥取公民館、西鳥取小学校、西鳥取漁港などを通る約1.7km(約2,600歩)のコースです。

このコースでは、豊臣秀次と側室お督(ごう)の娘菊の木像を祀った法福寺(お菊寺)や豊臣秀吉の小田原攻めに従軍した勇夫善六碑、平安時代に作られた十一面観音菩薩の立像が祀られている西鳥取観音堂など、歴史的な風景の中を歩くことができます。

尾崎コース

尾崎コースは、秋祭りでの神輿渡御(みこしとぎょ)で有名な海老野(えびの)の浜から尾崎漁港付近までの海岸沿いを通る約2.2km(約3,400歩)のコースです。

このコースでは、波の静かな尾崎の浜や「弘法大師の水」として知られる清水庵、西本願寺尾崎別院、浪花酒造(同酒造を含む成子家住宅は登録有形文化財)など趣ある昔ながらの街並みを歩くことができます。

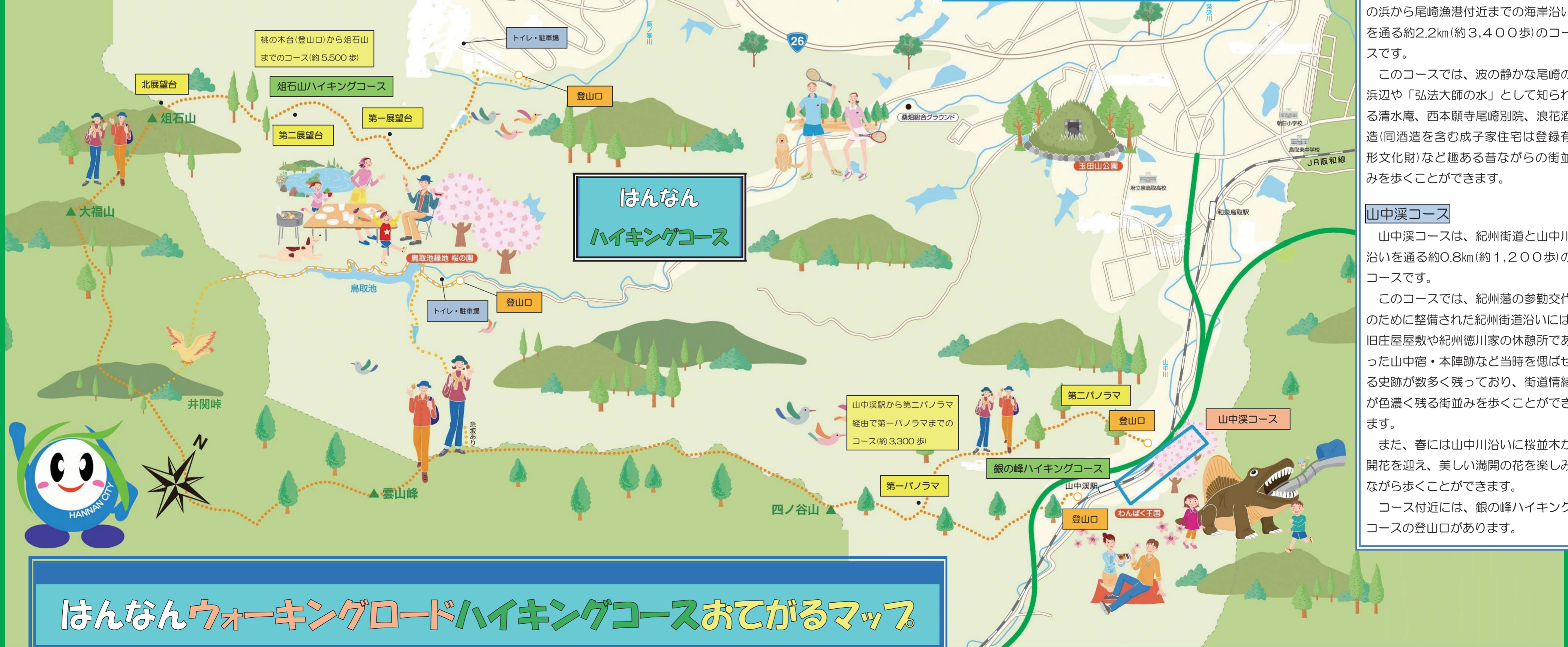
山中溪コース

山中溪コースは、紀州街道と山中川沿いを通る約0.8km(約1,200歩)のコースです。

このコースでは、紀州藩の参勤交代のために整備された紀州街道沿いには、旧庄屋敷や紀州徳川家の休憩所であった山中宿・本陣跡など当時を偲ばせる史跡が数多く残っており、街道情緒が色濃く残る街並みを歩くことができます。

また、春には山中川沿いに桜並木が開花を迎え、美しい満開の花を楽しみながら歩くことができます。

コース付近には、銀の峰ハイキングコースの登山口があります。



はんなんウォーキングロードハイキングコースおてがるマップ